

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営目標

エレクトロニクス分野における頭脳・知力の集団となり、最高のソリューションを提供するブレインを目指す

② 中長期の経営戦略

1. ユニット供給の拡大

バックプレーンをコアに、システムラックやコンピュータ・プラットフォームなど構成レベルの高い製品供給へシフト。顧客の開発期間短縮と技術者不足に対応

2. コア事業の強化

バックプレーンとボードコンピュータの開発・製造を強化。新製品開発、バリエーション拡充、コストダウン、品質向上で差別化と優位性確保

3. DX・5G・IoT対応

エッジコンピューティング、5G、ローカル5G対応製品開発。コンピュータと通信技術融合による新ソリューション提供

4. 放熱技術研究

CPU・メモリ等の半導体発熱対策を重要課題と認識。HPCの冷却構造設計経験を活かし放熱技術開発に注力

③ 対処すべき課題

① 事業ドメイン拡大

- ・ システム提案・受託範囲拡大で高付加価値化
- ・ ボード開発ノウハウ活用で新規メーカーとのパートナーシップ強化
- ・ 中国ビジネス拡大で高品質・低価格部材確保

② 罹災時事業継続

- ・ 事業継続計画(BCP)制定・運用強化
- ・ プレスフィットマシンの早期復旧体制充実
- ・ 関東・大阪・蘇州の工場分散化と仕入先多角化

③ CSR・内部統制推進

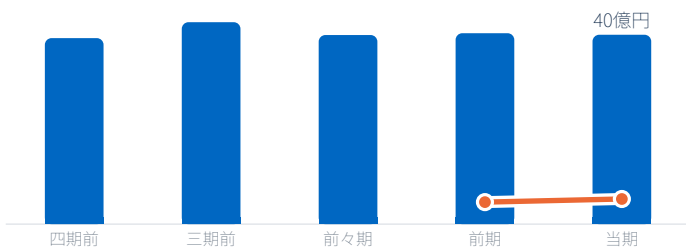
- ・ 内部統制体制整備で業務有効性と財務報告信頼性確保
- ・ 情報公開・IR活動充実で経営透明性向上
- ・ ISO14001認証維持でSDGs・環境対応推進

面接で使えるポイント

- ・ バックプレーン専門メーカーとして大手電機メーカーとの信頼関係構築。新規格への早期対応で評価獲得
- ・ 2025年度日本製半導体製造装置販売高5%増、2026年度10%増予測。AI・IoT需要拡大への対応チャンス
- ・ 関東・大阪・蘇州工場分散化でリスク管理。事業継続計画(BCP)で有事対応体制完備

証券コード 6599

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
40億円営業利益率
13.3%財務健康度
77点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 37.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
491万円

電気機器内 219位/225社

平均年齢
44.8歳

電気機器内 60位/225社

平均勤続
13.1年

電気機器内 167位/225社

女性管理職
4.8%

電気機器内 99位/182社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: エブレン(株)【6599】：配当情報

